

福井いきいき会新聞

一生勉強、一生感動、一生青春 第6号

今後各サークルの活動状況を
紹介していきます

第三回 囲碁大会を開催

福井いきいき会の囲碁将棋サークルでは、令和元年五月二十三日(木)にいきいき会よろず茶屋で、第三回の囲碁大会を開催しました。参加者数は、本サークルのメンバー以外からの応募者も多く十四名にもなり、午前十時半打ち始めて、和やかにしかし真剣に



勝負を競いました。結果は、優勝 石田武郎さん(写真中央)、準優勝 折尾 敏和さん(右端)、第三位 小池さんでした。なお、これまで将棋を

2019年6月発行:
福井いきいき会
福井市中央1-9
-29:
0776-28-6464
発行責任者
吉岡副会長



する方がいましてしたが、最近将棋を指しに来られる方が増えてきましたので、将棋ファンもどしどしサークルにご参加ください。写真は、大会の様子です
第三回
ボーリング大会を開催
ボーリング同好会で

は、令和元年五月十七日(木)アルプラザ鯖江ホールで第三回のボーリング大会を開催、終了後場所を福井駅の八兆屋に移して表彰式と懇親会を行いました。今回は、コンスタントに好スコアを出す竹内さんが二位以下を大きく引き離して優勝。第二位には、前月優勝の宮川さん、第三位は畑さんでした。三月例会で、過去最高点を出した井上さんは今回は七位でした。終了後の懇親会で表彰式が行われ、優勝者他に総額八千円の賞金が授与されました。

経済指標を考える会

酒井慎夫氏が講師を務める経済指標を考える会は、六月で二十九回目を迎えました。低金利の時代に、わずかのリスクで利益が得られる投資方法を講師の経験をもとに伝授するサークルです。講師はあまたある市場の株の中から有望な個別銘柄を選ぶのは難しいとい

音楽鑑賞会の状況

小林久子さんがリードしておられる音楽鑑賞会は、年に一回は外部から音楽家をお呼びして音楽会を開催していますが、定例の音楽鑑賞会の近況を紹介いたします。

第四十九回目の五月の例会では、まずクラシックでは、広々とした風景が浮かんでくるような気持ちにさせるベートーベンの交響曲「田園」、曲調の変化が多いビゼーの「アルルの女」、シューベルトの「未完成交響曲」といった名曲を鑑賞、その後は、イタリヤンシリーズ出身のアダモの唄で、雪が降る、サントワマミー、傷だらけの心、ハイ・ジュデーなどのシャンソンをレコードで聴きました。イブ・モンタンや越路吹雪が歌っていたシャンソンが聞こえるように、昭和への「タイムスリップ」、回顧に耽るひと時でした。

参加費徴収方法の 変更にご理解を

前号で、福井いきいき会の会則を二年ぶりに改定したことで、改定会則の全文を本誌に掲載しましたが、その中で、参加費徴収方法の変更について、会員の皆様にご理解をいただきました。改定の理由などを書かせていただきます。

高年齢者に金銭的負担を極力おかけしないことを、第一に考え、例会やサークルに参加する場合に、参加費として百円をいただくことにいたしました。これまで、本会の運営に係る費用を極限まで節約してきた事と、よろず茶屋の家賃が、貸主のご好意で最小限で済みましたので、何と

か会の運営ができていました。しかし、よろず茶屋へ行くエレベーターが本年九月限りで運転停止になるため、よろず茶屋を、現在のビルの上階と三階に移転することになりました。その条件として、部屋の外部に音が漏れるサークル活動は厳禁との付帯条件がついてきます。このため、合唱クラブ、音楽鑑賞会、映画鑑賞会、気軽に力

ラオケなどのサークルは、別会場にて行わなければならない事態が予想されます。これまでは、外部の会場で行われるカラオケうた会や、おしゃべりランチ、ピンポン、芸能クラブなどサークル活動から参加費の徴収をしていませんでしたが、そのままでは、収入が激減する恐れがあります。以前から、外部で行われるサークルにだ

け参加している会員は、本会へ参加費を支払っていないことについて、不公平だとの意見もありました。そこで、改定会則では、すべての本会のサークル活動の参加者から、一律参加ごとに百円を徴収することにいたしました。

以上説明したような事情で会則の変更をいたしましたので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

会員のエッセイ

生きて老いて輝いて

澤村 玲子

スローガンのひとつである一生勉強の自主団体福井いきいき会に入会して、今年6月で4年を経た私。いくつかのサークルに属しているが二〇一七年一月に新しく発足した芸能クラブの演劇部劇団幸齢者に興味津々。事前説明で全て要請公演、営業活動なし。公演時の交通費実費のみお願いすることが基本のいわゆるボランティア公演であると・・・。若い頃からボランティアへの関心が強かったものの独り芸も技もまた仲間もなく傍観してきた。このサークルでなら仲間と共に確実に私の思いも実現可能と心踊った。

とにかく初回に出席。まず座長がこの道では県内で知名度を持ち過去に主宰の高齢者の劇団や当年十二月ファイナル公演のこども劇場代表で、監督演出はもろろん脚本を書き自ら

も役者として演じられるそうである。高齢期に至ってこの指導者の下で学べるのだとたちまちその気になった。考えてみれば小学校の学芸会以来の演劇である。日々顕著になってゆく記憶力の減退も色濃く、何とも無謀な挑戦である。しかし船に乗りねば漕ぎ出せぬ勇気をふるい席に着く。

脚本が配られさつと目通し。配役が決まり読み合わせ立ち稽古と月二回頻度で行われる。座長のこれまでの公演実績で生まれたばかりの幸齢者劇団にも公演を五回ほどでの四月二十一日に初演決定。朝ウオークを日課として

み直す。いよいよ四月二十一日初演日。某市老人連合会総会のアトラクションとしての出演である。十四時三十分スタートの予定が会進行の遅延が重なり十六時をかなり過ぎてようやく開演。初演の緊張ガチガチが待機時間で疲れ、気持ちも極度に下降した頃・・・はい本番スタート・・・。

私は開幕第一声を普段どおりにやればきつとうまくいくと自分に言い聞かせてステージへ・・・幕が上がり、まずサーツと左から右へ客席への視線を早移動。客の顔、表情、人数を大まかに認識し大丈夫とつぶやく。稽古時のたどたどしさはあまりなく四十五分間、全座員その時持ち合わせ

せた力を本番力として出しきつたと感じた。観客の笑いは演じるものを上昇機運にのせ、終演の拍手は当初の不安を一気に喜びへと開放する。このすがすがしさと充足感。演劇とはセリフをどう声に乗せ役柄を表現するか。誠実な演技姿勢で情熱を加え一生懸命に伝える。そして観客がどう反応して返球してくるか。のキヤッチボールだと実感した。セリフ表現が観客の耳と心に届けば笑いと拍手で返ってくる。公演こと得られる喜び、これこそが内なる心の輝きなのだ。

老は誰にも等しく訪れる。しかし生きて挑戦すれば老の中でも輝く自分に出会い納得して自分を生きられる。観客の返球で得た喜びのすべてを自分の輝きとして誇らしく老期を生きる。何とすがすがしく明るい事か。日々楽しくてたまらない。関係者の皆様に深く感謝しながら、七十三才初舞台から私は希望の灯に導かれ日々を重ね



ている。万歳万歳である。七十過ぎ ひらき直りの 初舞台 以上

会員の作品の紹介

副会長の吉岡は、油絵を描くのが趣味です。七三才を迎えたころ、仕事も非常勤となったのを機に、井ザワ画房が開いている高橋宣子先生の油絵講座を受けることにしました。高橋先生は、強いタッチで牛をモチーフにした油絵を描かれる先生でしたが、デッサンの重要性と、写真とは違った絵のかき方を教えていただきました。そして四年ほどの間に、県

内の公募展に応募できるほどになりました。講座は、石田孝子先生に引き継がれ、現在ではもう五年目に入ります。石田先生は、名画を模写することによって色使いや、明暗中と出した方、構図の取り方などの油絵の基本を教えられるとともに、各自が描く絵の問題点を教えてもらっています。

福井の年間の公募展は、市美展ふくい、県展、勤労者美術展、シルバー美術展などがあり、私は、県展を除いた公募展に応募しています。

私の絵のモチーフは、人物画や、砂漠にラクダのいる風景です。本会で会計を担当していただいてる向川さんの計らいで、各所で小さな個展を開かせていただいています。主に福井銀行さんの各支店のロビーで行っています。去年は県立図書館、県立病院、商工中金のロビーなどでも油絵展をさせていただきました。

最近では、写真のように福井銀行の桜通り支店で一月八枚の絵を展示させていただきました。今年の公募展では、シルバー美術展（滑り台の親子）、市美展ふくに「モロツコの砂漠とラクダ」いずれも二十号の絵と、小さな絵の公募展に「幸せ」という三号の人物画を、出品しました。これらの絵を添付したかったので、ご覧いただければ幸いです。



第77回例会講演
人間関係を深める
コミュニケーションの基礎
講師：事務局次長 大野勉

コミュニケーションの相手は主に、私が教育研究所相談課時代のクライエント（相談に見えた人）で、子どもとか大人、また、時代にはあまり関係ないと思うと断って話を進めた。

話の内容…子どもの自立はホップ（しつかり抱いて）・ステップ（下におろして）・ジャンプ（一人にして）の過程を経る。いわば、根を養えば大樹は自ずから育つ、と言える。乳児としての約半年間は、「お腹がすいた」とか、「オムツを代えてよ」とか「淋しいよ」とか言っては泣き、その都度誰かが走り寄って来て自分の欲求を満たしてくれることに安心し、無意識のうちに「自分を守ってくれる人が身近にいる」ことを実感し、三ヶ月頃には「三ヶ月微笑（虫笑い）」、七か月位経つ

と”七か月不安（人見知り）の症状を見せる。これらの症状は、その子は順調に育っている証と言える。その後次第に自我が芽生え、三〜四歳になると物を収めた籠をひっくり返したり、障子を破ったり、親の言うことに反抗したりする、いわゆる第一反抗期を迎える。籠をひっくり返したり、障子を破ったりするのは親からみれば困ったいたずらに映るが、籠の中には何があるか、障子の向こうには何があるかを知りたい探求心が芽生えているのであり、親には反抗と映る口ごたえは、自我の芽生えと理解すべきである。

第二反抗期を迎え、自我の高まりを伴って大きく成長するのである。なお、中学生の頃は「大きな子ども」「小さな大人」(mar sin 2)・ego・周辺人)として周囲からは大人扱いされたり、子ども扱いされたりするが、昔の元服に倣って一人前の大人として扱ったほうが良いと思う。

男性は元来厳しく、遅しく、理性的な一面を持つているのとは対照的に、女性は優しく、温かく、情緒的な一面を持つている。しかしこの男性的な一面(男性性)は女性にも備わっているし、逆に女性らしさ(女性性)は男性にもある。片親は子どもに対してこの二つの性を使い分けねばならないところに子育ての難しさがあるが、両親が協力して子育てに当たる場合は夫婦の対応は一致したものでなければならぬ。

私が勧めたい対応は(一) 傾聴…聴は字の示す通り、耳プラス目と心を駆使して聞くべきもの

(二) 受容と共感…相手の言うことをありのままに受け入れ、相手が感ずるまま感ずること、聞き手の見解や価値観を入れずに聞くことである。

(三) 直そうとするな、分かるうとせよ…親が困った子どもの問題を親は直そう直そうとするが、子どもがやりたいう気持ちを理解してやるのが大切。

(四) 「私は…」で始める会話…「お前は…」で会話を始めると相手を非難する場面が多いが、「お母さんはそんな言葉は好きじゃないな」のように「私は…」で始まる会話にすれば親の気持ちを伝えることと、相手を非難することなく自分の気持ちを伝えられる。

(五) I am OK. You are OK. と言うには先ず自分が自分を好きになることが肝要。

(六) 人間は徹底的に主體的な存在であることを知るべき

(七) 人を動かす秘訣はただ一つ「動きたくなる気持ちを起こさせること」

(八) 人間の欲求の中で一番強いのは認められたいことであること

これまでの体験を通じて強く感じることは、

- ・家庭教育の基本は、内在する子供の能力を引き出してやること、自分で考え、自分で行動し、自分で責任の取れる子どもに育てることである
- ・ことを親は知るべきであると同時に、家庭は厳しいしつけのある、暖かく安らぎの場であって、暖かなくてはならない。
- ・人は誉められ認められると達成感、成就感が得られ、それが自信につながり、良い自己概念に結びつくものだ。
- ・逆に失敗したときに「どうしてこんなことができないの」「何回言えば分かるの」「嫌々するから失敗するのよ」などと叱つたり注意したりすると、失敗したことを悔い、自信を失い、ひいては劣等感につながってしまう。自信を失わせる言葉は禁句と心得たい。

最後に私が関わった子どもの口から実際に出した言葉を紹介しておきます。

- * 私の母は「ナサイ」ママ
- * 僕が考えているのに、お母さんが先に答えを出してしまう
- * 母ちゃんの無言の叫びが聞こえてくる
- * (夢の中で) 透明人間になって学校へ行っただが楽しくなかった
- * 十三分ならできる

・親は人のものを盗んだり、友達をいじめたり、つまり反社会的な行動をした場合と人に迷惑をかけた場合は子どもを強く叱るべきである。ただし、愛に裏打ちされた叱責であるべきで、且つ、行った行為を叱るべきで、人格を傷つけるものであってはならない。



よ(どれだけだったか)勉強できる?の問いに)
 * ミリ単位なら行けるよ(不登校児にどれくらいの距離だったから学校へ行ける?の問いに)
 以上 大野 記

本新聞の構成について

一 ページ目は、本会からの重要なお知らせや、各サークルの活動状況などを順次記載す。

二 ページは、会員のエッセイと、会員の作品などの紹介や発表の場としていきます。

三 ページには、前月の例会講演の概要を掲載。

そして四ページは、翌月の予定表として、各サークルがいつ行われるかがすぐわかるような形で掲載するとともに、内容の予告もしていきます。

会員の皆様で、本新聞に取り上げてほしい情報がありましたら、本会の運営委員を通して、あるいは直接発行責任者の吉岡まで御連絡ください。

七月の行事予定

例会の講演

演題「終括」について

講師：葬祭ディレクター
一級 清水貴裕氏

歴史を楽しむ会

足羽七城の戦い

講師 小坂 武士氏

鎌倉幕府を倒すも、その後足利方と險悪になつてしまい、越前で命を落とす南朝方の新田義貞と、足利(北朝)方の斯波高経が、この一帯で激しく「足羽七城の戦い」を繰り広げた。その七城のひとつが、藤島城という。
足羽七城は斯波高経方が拠つた城ですが、現地解説板は「南朝方」とされているが、「藤島城主斯波左馬介豊郷の勸進によって本願寺二世法主綽如上人の御二男頓円鸞芸法印を寺主に迎え開創した寺である。」とされていることから、これは、解説板が誤りで北朝方

波一族が南朝の新田軍と戦つた城であるようです。詳しい話は、小坂さんのお話を聞きましょう。

映画鑑賞会

七月の映画は、旅愁です。妻と離婚のためアメリカに帰国する実業家と、女性アメリカ人ピアニストが機内で親しくなり、二人は予定を変更してナポリで観光旅行をしているうちに出発に送れる。その飛行機が墜落事故を起こし、死亡者リストには二人の名前も。二人は、フィレンツェに居を構え、過去を捨てて異国での愛の生活を営むが...

七月の映画は、旅愁です。妻と離婚のためアメリカに帰国する実業家と、女性アメリカ人ピアニストが機内で親しくなり、二人は予定を変更してナポリで観光旅行をしているうちに出発に送れる。その飛行機が墜落事故を起こし、死亡者リストには二人の名前も。二人は、フィレンツェに居を構え、過去を捨てて異国での愛の生活を営むが...

易しい科学の話

作です。

令和元年七月の行事予定表

令和元年7月の行事予定表

区分	NO.	サークル名など	開催日		
カルチャー	1	例会	7/25(木)		
	2	経済指標を考える会	7/3(水)		
	3	懐かしの映画鑑賞会	7/2(火)		
	4	音楽鑑賞会	7/23(火)		
	5	よろず討論会	7/12(金)		
	6	気軽に話せる会 (午前10時)	7/10(水)	7/24(水)	
	7	おしゃべりランチ (12時) 【1,000円】	7/18(木)	開始時間に注意	
	8	歴史を楽しむ会	7/11(木)		
	9	読書会	7/27(土)		
	10	新聞雑誌の記事を読む会	7/30(火)		
	11	易しい科学の話	7/17(水)		
	12	インターネットで世界旅行	7/26(金)		
参加型	13	パソコン教室	7/6(土)		
	14	川柳同好会	7/20(土)		
	15	カラオケ研究会 (午前10時半)	7/28(日)	開始時間に注意	
	16	気軽にカラオケ	7/28(日)		
	17	カラオケうた会 【900円】	7/16(火)	12時開始	
	18	合唱グループ(11)	7/1(月)		
	19	習字教室	7/8(月)		
	20	手つくりの会 (別会場) 【1100円】	7/17(水)		
	21	芸能クラブ (ハピリン)	7/4(木)	7/30(火)	13:30~
			7/19(金)	駅前	13:30~
健康	22	囲碁将棋	7/4(木)	7/10(水)	7/16(火)
			7/24(水)		
	23	私の健康法 (午前10時)	7/27(土)	開始時間に注意	
	24	ボーリング (午前10時) 【約900円】	7/19(金)	アルプラザボウル	
	25	ピンポンの会 (市体育館) 【200円】	7/31(金)		
	26	ダンス教室	7/8(月)	午前10時	注意
			7/24(水)		
	27	健康麻雀	7/5(金)	7/7(日)	7/13(土)
		7/14(日)	7/15(月)	7/16(火)	
		7/18(木)	7/21(日)	7/22(月)	
		7/24(木)	7/29(月)	7/31(水)	
審議	28	運営委員会	7/9(火)		

講師は、吉岡副会長です。スーパードのレジで商品の値段が一瞬で登録される。それは、縦の線が1列に並んだ「バーコード」を機械が読み取っているからです。最近、QRコードという言葉をよく聞くようになったと思えます。これは日本人が発明した二次元のコードで、バーコードより

も、はるかに多くの情報を含んでいます。QRコードの内容を見るには、スマホにアプリをインストールするか、LINEにあるアプリ出カメラをQRコードに向けて、何が書いてあるかが分かります。QRコードは、インターネットに公開されているアプリを使って自分で作ることもで

きま。インターネットに載せたいホームページを見られるようにするためのQRコードも作れます。バーコードやQRコードの仕組み、広がる応用についてお話ししたい



インターネット 世界旅行

七月は、オーストリアに行きましょう。中欧に六百五十年間ハプスブルク家の帝国として君臨していた国。ドイツ敗戦後一九五五年までの連合国軍による

よろず討論会

最話題になっているテーマを取り上げます。

分割占領の時代を経て、独立回復と永世中立国化により現在につづく体制となった。音楽を中心文化大国としての歴史も有する国です。